## 「和歌山医学」投稿規定

(令和5年12月4日改正)

- 1. 投稿論文の内容は、他の雑誌に未発表のものに限る。
- 2. 投稿者は、本会会員に限る。もし会員でない場合には、すみやかに入会手続きをとる。
- 3. 人を対象とする研究報告は、ヘルシンキ宣言(1964年採択、 1975年修正、1983年改定)や各施設の倫理委員会規則等 の精神に則って行われたものとする。
- 4. 実験動物を用いた研究報告は、各施設の動物実験指針に 則って行われたものとする。
- 5. 投稿原稿の種類は、次のとおりとする。
  - 総 説:ひとつのテーマに関連する研究の総括,評価, 文献解題
  - 原 著:研究材料,研究方法,研究結果,研究結果の解 釈等において新しい知見または創意が含まれて いる論文
  - 症例報告:疾病に関する報告やケースレポートで,データ 自体に利用価値があるもの
  - そ の 他: 学会や研究会の会報, 医学に関する重要な資料, 論文の紹介等
- 6. 投稿論文は、査読の後、編集委員会において原稿の採否、 修正加筆要求、掲載順序の指定など決定する。掲載の順序 は、原則として受理の順とする。
- 7. 編集委員会の決定により、依頼原稿を掲載することができる。
- 8. 本誌に掲載された原稿の著作権は、和歌山医学会に帰属する。
- 9. 原稿の締め切り日は特に設定せず、随時受け付ける。
- 10. 原稿は「原稿の様式」にしたがって書くこと。
- 11. 原稿は、著者の所属責任者の校閲を受けた後投稿する。
- 12. 投稿のための費用は無料とする。(2021 年 4 月より) ただし、その他(会報等)は 2,000 円を編集部に納入する。
- 13. 原稿は、次の URL からの電子投稿とする。 https://www.editorialmanager.com/JWMS/ (2022 年 4 月より、原則として電子投稿のみ受付る。)
- 14. 掲載料および別冊代は、原著、症例報告に限り、刷り上がり3頁、50部まで掲載料および別冊代は無料とし、それを超える場合は著者負担とする。ただし、巻頭言等の依頼原稿は無料とする。
- 15. 著者校正は原則として2回とする。
- 16. 和歌山医学会に帰属された論文の転載については、公的機関及び非営利団体に対しては無償、営利団体に対しては賛助会費あるいは転載許可料として10万円をお支払いいただくことを条件とし許諾することとする。

## 原稿の様式

- 1. 和文原稿は原則として Word を用い、A4 用紙 30 字× 28 行 (840 字) 程度の横書きとする。
- 2. 原稿の様式は,緒言,方法,結果,考察,結語の順で構成する。
- 3. 原稿を投稿する際には、必要事項を選択・入力し、編集者・ 事務局に連絡がある場合には、コメント欄へ入力する。
- 4. 原稿にはページを付す。
- 5. 原稿の項目わけは、 I …,1…,1)…の順にしたがって分ける。
- 6. 文章は新かな使い、常用漢字使用とし、コンマ、句点およびカッコは1字分とする。
- 7. 用語は、主として文部省学術用語集にしたがってしるし、 各専門用語はそれぞれの学会において統一されている用語

- を用いる。略語もこれに準じる。
- 8. 外国語の人名, 地名, 学名は活字体を使用し, 1 字分に 2 文字を収める。ただし, カタカナでもよい。
- 9. 数字はすべて算用数字とし、1字分に2文字を収める。
- 10. 和文原稿には、英文抄録(400 語以内)をつける。なお、 英文は英文のレビューを受けた後に投稿する。
- 11. 英文原稿および英文抄録は、A4 用紙にダブルスペースで 入力する。
- 12. 図表は、A4 用紙に縮小製版できるように明瞭に書く。縮 小することが適当と考えられる図は、図内に縮小率を書く。
- 13. 図表は、すべて本文とは別ファイルとして、アップロード する。本文中に挿入箇所を原稿の欄外に明記する。(図 2 または表 3 など)
- 14. 印刷・製版に不適当と認められる図表は、書き改めを求めることがある。
- 15. 写真は、鮮明なものとし、A4サイズに収まるものとする。
- 16. 単位符号は、原則として SI 単位を用いる (JISZ8203 参照)。
- 17. 引用文献は、引用順に番号をつけて最後に一括し、下記の記載例の形式で示す。本文中には、片カッコを付けて本文中著者名の右肩や「…知られている<sup>1)</sup>。」または「…<sup>2,3)</sup>、…<sup>4,7)</sup>」のように文献番号をつける。著者が7名以上の場合は、最初の3名を記し、あとは「ほか(英文では et al.)」とする。学術雑誌の場合は、著者名:題名. 誌名 巻数:頁-頁、発行年(西暦). の順に記す。
  - 1) 紀州太郎, 和歌山花子: 有機溶剤が最高可聴闘に及ぼ す影響についての調査研究. 和歌山医学 47:173-180, 1996.
  - 2) Kishuu TA, Wakayama HA, Kenritsu I et al.: Noise-induced hearing loss in working environment and its background. J Occup Health 39: 5-17, 1997.
  - 注; 欧文の場合の著者名は、著者の姓をまず書き、名前の 頭文字を次に書く。和文雑誌名は日本医学雑誌略名表 (日本医学図書館協会編) に準じ、欧文雑誌名は、原 則として World Medical Periodical (World Medical Association)の方式に準じる。原則として号数は記載 しない。ただし通巻頁のない場合は号数を記す。 単行本の場合は、著者名(分担執筆者名):論文名、 書籍名(編集・監修者名)版数、出版社名、出版地、 出版年(西曆)、頁一頁、の順に記す。
  - 3) 紀州太郎, 和歌山花子:わが国における生涯を通じての 健康づくりをめぐって.新しい健康科学の探究(徳川吉 宗編著)第1版, 東山書房, 京都, 1996, pp. 177-206.
  - 4) Kishuu TA Wakayama HA: Cellular motility measured in the guinea-pig cochlea. In biophysics of hair cell sensory systems (Duifhuis H, Horst JW, van Dijk P, van Netten SM Eds) 1st Ed, World Scientific Publishing, Singapore, 1993, pp. 229-239.
  - 注; 引用箇所の頁数を記す。ただし内容を全般的に引用する場合は頁数を略してもかまわない。

## 【和歌山医学編集部】

〒 641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 和歌山県立医科大学 図書館棟 3 階同窓会事務局内 TEL:073-441-0914 FAX:073-441-0915 E-mail: wkigaku@wakayama-med.ac.jp